

地域住民、市民団体と行政による取組内容の検討

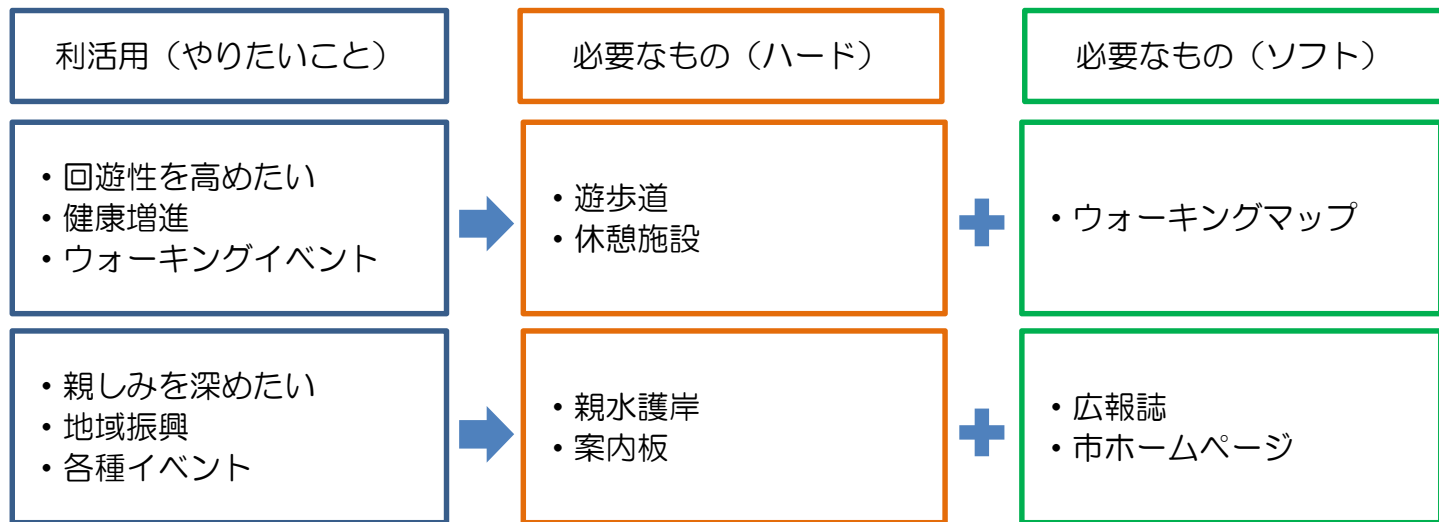
川の国埼玉はつつプロジェクト「東京葛西用水地区」を推進するため、実施地区毎にワーキングチームを結成し整備内容、利活用・維持管理の方策等について検討しました。また、ワーキングチームは全体会を設置して、各地区の報告など東京葛西用水の整備や維持管理、利活用の情報交換を行いました。



全体	開催日時	内容
第1回	平成29年7月31日	各地区事業報告、利活用・維持管理について
第2回	平成30年5月14日	各地区事業報告、利活用・維持管理について
第3回	令和元年5月27日	各地区事業報告、利活用・維持管理について
第4回	令和2年6月24日	各地区事業報告、利活用・維持管理について

地域	開催日時	内容
第1回	平成29年7月21日	整備内容、利活用・維持管理について
第2回	平成30年7月27日	整備内容、利活用・維持管理について
第3回	令和元年8月9日	整備内容、利活用・維持管理について
第4回	令和2年9月18日	整備内容、利活用・維持管理について

協議会構成メンバー
地元町会・自治会
葛西用水親水公園化推進協議会
葛西用水保全会
青柳ふれあいの道緑化推進会議
草加市観光協会
越谷市
草加市
八潮市
埼玉県



目標・成果指標について

- 東京葛西用水のにぎわい創出
 - ・市内外からイベント参加者等呼び込みにぎわいの創出のためには、市民による情報発信が必要と考えられる。そのためには、東京葛西用水を日常的に利用していただき、愛着をもってもらうことが必要と考えられる。
- 市民の愛着度の向上
 - ・東京葛西用水の日常利用として考えられるのがウォーキング等であり、これらの利用者の増加を目指し、水辺空間を安全に安心して楽しむための護岸・人道橋・花壇・案内板の整備や散策マップの活用、アクセスの向上を図ることで、市民に東京葛西用水について、より一層の愛着と誇りをもってもらうこと及び来街

成果指標	整備前 (H29)	R2目標	整備後 (R2)
遊歩道利用者	13.6人/時間	20.4人/時間	13.6人/時間
観光入込客数	82万人	100万人	10万人

※令和2年の遊歩道利用書、観光入込客数については、コロナ禍が大きく影響していると思われる。

利活用について

- 案内板、散策マップを活用して周辺スポットや駅から、葛西用水の水辺空間への回遊を促します。
- 整備した水辺空間を、既存イベント（草加さくら祭り、船上金婚式）の会場に活用します。
- 葛西用水沿いの遊歩道を利用した新たなウォーキングルート（葛西用水路北側ルート、草加松原から八潮市、足立区ルート）を提案します。
- 親水護岸等を自然観察の場として提案します。
- 草加市のミス・コンテスト「草加さわやかさん」をモデルにした写真撮影会を開催します。
- 農業用水の利活用推進として、草加市都市農業振興基本計画（令和2年3月策定）と連携し、都市農業との触れ合いを創出するため、地域に密着した定期的なイベントを開催します。
- 越谷市、八潮市と連携して、近隣から葛西用水や周辺スポットへの回遊を促します。
- 東京葛西用水の歴史について案内板等を用いてアピールします。



維持管理について

第四次草加市総合振興計画の水とみどりのまちづくりでは、行政の役割としては安全・安心のための保全、地域はごみ拾い等の清掃活動を協働のイメージとしています。葛西用水においても、行政、地域等が連携して水辺空間の保全を行っていきます。また、東京葛西用水の見どころでもある桜並木については、平成30年度に樹木調査、地元住民との懇談会を経て、「葛西用水桜保全管理計画」を策定しました。



- 対象施設
 - 遊歩道、植栽
- 実施主体
 - 市、町会、既存の活動団体
- 内容と役割分担
 - ごみ拾い・・・緑化団体、町会・自治会
 - 除草・・・市、緑化団体（市が活動支援）
 - 植栽・・・緑化団体、町会・自治会（市が活動支援）
 - 舗装、護岸、橋の補修・・・市
 - 水路内の刈払（葦等）・・・市

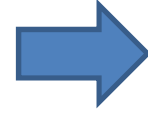
【既存の活動】

- ・葛西用水親水公園化推進協議会
 - 場所：青柳、稲荷地区
 - 内容：植栽、除草及び清掃、施肥及び灌水、病害虫の防除、整枝及び支柱等の補強、その他
- ・葛西用水桜を守る会
 - 場所：稲荷地区
 - 内容：植栽、除草及び清掃、施肥及び灌水、病害虫の防除、整枝及び支柱等の補強、その他
- ・青柳ふれあいの道緑化推進協議会
 - 場所：葛西用水及び青柳公園
 - 内容：植栽、除草及び清掃、施肥及び灌水、病害虫の防除、整枝及び支柱等の補強、その他

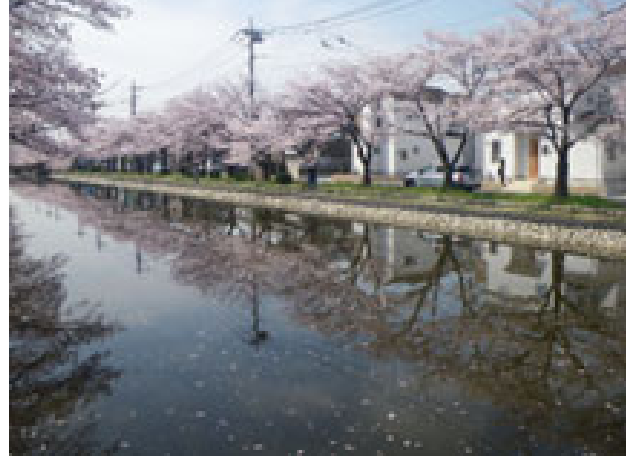
整備前後の比較

親水護岸の整備

整備前



整備後



修景護岸の整備

整備前

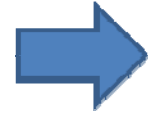


整備後



老朽化した橋梁の架換え

整備前



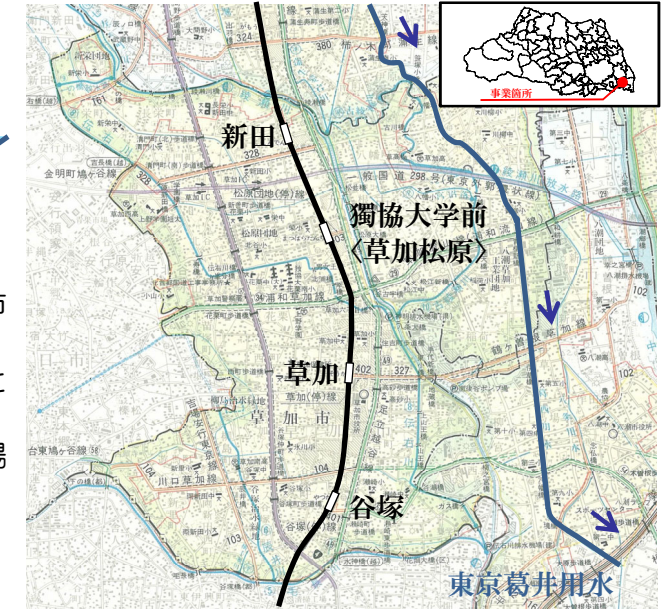
整備後



川とまちの状況

東京葛西用水の概要

- 市内の東京葛西用水路の両岸延長7.0km
- 活動団体 3団体
- 東京葛西用水の特徴
 - ・右岸側は遊歩道が整備され、上流は越谷市、下流は八潮市まで連続している。
 - ・遊歩道には桜並木があり、お花見、イベントのスポットとなっている。
 - ・デッキやベンチが設置されており、日常から市民の憩いの場となっている。
 - ・用水を利用している営農者が複数、点在している。
 - ・国の定める絶滅危惧種であるキタミソウが生息している。



まちの状況



- 地域資源
 - ・葛西用水は享保4年(1719年)、埼玉県東部の水田灌漑のため、つくられた用水路である。青柳新橋付近は1.3kmに渡り約450本のソメイヨシノが並ぶ桜並木となっている。
 - ・東京葛西用水では、春に草加さくら祭り、船上金婚式等のイベントが開催されている。また、通年においてウォーキング会が開催されている。
 - ・エリア内には、国の名勝指定となった草加松原や歴史民俗資料館、草加せんべい発祥の地碑、そうか公園といったスポットがある。
 - ・東京葛西用水には国の定める絶滅危惧種に指定される希少植物のキタミソウの群生地がある。

